

第17回 環境社会検定(eco検定)試験 模範解答

本解答は、株式会社パデセアが2014年12月14日に実施された試験から独自に作成したものです。

第1問 配点:各1点×10

設問	解答	語句
ア	2	「持続可能な開発」とは、将来世代のニーズを損なうことなく、現世代のニーズを満たすことである
イ	1	
ウ	1	
エ	1	
オ	2	「旬産旬消」とは、露地栽培の農産物を旬の時期に食べることであり。ハウス栽培に比較するとエネルギー消費が少ない
カ	1	
キ	1	
ク	1	
ケ	2	「情報公開制度」ではなく「パブリックコメント」である
コ	1	

第2問-1 配点:各1点×5

設問	解答	語句
ア	5	京都メカニズムクレジット
イ	1	8.4
ウ	9	省エネルギー
エ	12	増加
オ	15	クールビズ・ウォームビズ

第2問-2 配点:各1点×5

設問	解答	語句
ア	2	環境ラベル
イ	6	第三者
ウ	3	エコマーク
エ	7	自己宣言
オ	10	エコリーフ

第3問 配点:各1点×10

設問	解答	語句
ア	4	熱塩循環
イ	4	白化現象
ウ	2	PM2.5
エ	4	ヒートポンプ
オ	3	リサイクル
カ	2	PCB
キ	4	環境影響評価(アセスメント)制度
ク	1	CSR
ケ	1	トレーサビリティ
コ	2	ソーシャルビジネス

第4問 配点:各1点×10

設問	解答	語句
ア	6	パークアンドライド
イ	1	ロードプライシング
ウ	8	感覚公害
エ	10	ヒートアイランド
オ	14	熱中症
カ	18	遊水機能
キ	19	都市型洪水
ク	12	光害
ケ	24	コンパクトシティ
コ	25	スマートシティ

第5問 配点:各2点×5		
設問	解答	語句
ア	1	「生物ポンプ」ではなく「光合成」である
イ	2	植物由来のバイオマスエネルギーは「再生可能エネルギー」である
ウ	3	補助金は「経済的手法」である
エ	2	有機性汚濁物質の排水処理には「活性汚泥法」が広く採用されている
オ	4	「リスクコミュニケーション」は化学物質の危険性、使用、利用に関する情報を提供することである

第6問 配点:各1点×10		
設問	解答	語句
ア	2	公害対策基本法
イ	1	温室効果ガス
ウ	4	天然ガス
エ	1	湿地
オ	1	ウィーン条約
カ	3	自然再生推進法
キ	2	ホルムアルデヒド
ク	2	ステーキホルダー
ケ	1	CASBEE
コ	4	WEEE指令

第7問 配点:各2点×5		
設問	解答	語句
ア	2	石炭
イ	1	ベストミックス
ウ	3	安定供給の確保(Energy security)と経済効率性(Economic efficiency)
エ	1	自然環境の中で繰り返し補給されるので枯渇しない
オ	3	使用者の電気料金に上積みされる

第8問 配点:各1点×10		
設問	解答	語句
ア	3	生態系ピラミッド
イ	1	燃料電池
ウ	4	バックキャストイング
エ	2	バーゼル条約
オ	3	UNEP
カ	2	トリプルボトムライン
キ	2	アジェンダ21
ク	1	カーボンフットプリント
ケ	2	フェアトレード
コ	1	グリーンコンシューマー

第9問 配点:各1点×5		
設問	解答	語句
ア	1	40億
イ	5	中国
ウ	9	熱帯多雨林
エ	10	地球の肺
オ	14	医薬品
カ	16	焼畑耕作
キ	17	森林火災
ク	22	森林原則声明
ケ	24	急増する人口
コ	27	リオ+20

第10問 配点:各2点×5		
設問	解答	語句
ア	2	「ユネスコエコパーク」は生物圏保存地域のことであり、「人間と生物圏計画(MAB)」の生物多様性の保全と持続可能な発展との調和を図る研究フィールドで
イ	1	「予防原則」は科学的に確実でないことが、環境保全上重大な事態が起こることを予防するための施策の実施を妨げてはならないこと
ウ	1	環境に配慮した自動車の開発・普及は「緩和策」である
エ	4	「特別管理廃棄物」とは、爆発性、毒性、感染性その他の人の健康又は生活環境に関する被害を生じるおそれのあるものである
オ	3	「もったいない」を国連の会議で紹介したのはワンガリ・マータイ氏である